

平成 25 年度 生理学研究所 研究会
「シナプス恒常性維持の分子基盤とその破綻」
生理学研究所（明大寺地区）職員会館 2 階 大会議室
代表者： 大塚 稔久（山梨大学 医学部 生化学講座第一教室）
所内対応者： 深田 正紀（生理学研究所 生体膜研究部門）

6 月 6 日（木）

12:20	開会挨拶 大塚 稔久（山梨大学 医学部 生化学講座第一教室）
座長	大塚 稔久（山梨大学 医学部 生化学講座第一教室）
12:30	神経伝達物質放出におけるアクティブゾーンタンパク質 CAST の機能 小林 静香（東京大学 医科学研究所 神経ネットワーク分野）
13:30	神経筋接合部シナプスの成長過程におけるアクティブゾーン密度の維持と老化による衰退 西宗 裕史（University of Kansas School of Medicine, Department of Anatomy and Cell Biology）
14:30	新規遺伝子導入ツールの脳機能解析への応用 小林 憲太（生理学研究所 脳機能計測・支援センター ウイルスベクター開発室）
15:10	コーヒープレイク
座長	服部 光治（名古屋市立大学大学院 薬学研究科 病態生化学分野）
15:50	神経分泌蛋白質 LGI1 の変異を原因とする“てんかん”の分子病態機構の解明と治療法の開拓 横井 紀彦（生理学研究所 生体膜研究部門）
16:30	シナプス可塑性による海馬回路活動の制御 北西 卓磨（京都大学 白眉センター 松尾研究室）
17:30	情動記憶制御における扁桃体中心核シナプス可塑性の生理的意義と分子機序 渡部 文子（東京慈恵会医科大学 神経科学研究部 神経生理学研究室）
18:45	懇親会 於職員会館 2F

6 月 7 日（金）

座長	植村 健（信州大学 医学部 分子細胞生理学講座）
8:30	自閉症モデルマウスを用いた発症メカニズムの解明 定方 哲史（群馬大学 先端科学研究指導者育成ユニット）
9:30	脳の形成を司る細胞外因子リーリンのプロテオリシスによる機能制御機構の解明 河野 孝夫（名古屋市立大学大学院 薬学研究科 病態生化学分野）
10:30	コーヒープレイク
座長	深田 正紀（生理学研究所 生体膜研究部門）
10:45	補助サブユニットによるグルタミン酸受容体の機能制御 住岡 暁夫（長寿医療研究センター 分子基盤研究部 標的治療開発室）
11:45	シナプス接着分子 Neuroligin の神経活動依存性プロセッシング 富田 泰輔（東京大学大学院 薬学系研究科 臨床薬学教室）
12:45	閉会挨拶 深田 正紀（生理学研究所 生体膜研究部門）